

諏訪小だより

令和7年4月30日
5月号
多摩市立諏訪小学校
校長 齋藤 幸之介

子供たちにとっての地域とはー「共通感覚」から改めて考える

齋藤 幸之介

過日行いました引き取り訓練には、多数御参加いただきまして誠にありがとうございました。引き取り開始時刻のお知らせに誤りがあり、皆様には御迷惑をおかけしました。私共は今後、どの子にも同じように安全・安心が保障される手立てを講じられるようにしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年度が始まってからおよそ1か月が過ぎました。今年度は31年目の春を迎え、新たな1歩を踏み出したい、と考えています。その際のキーワードの一つはやはり「地域」だと捉えています。今回はこのことを考えてみたいと思います。

時代と共に変わってきた「地域」

子供たちを取り囲む環境が変わってきたことは随分と前から言われています。私共の先達は、子どもの世界から路地や広場が消え、鬼ごっこなどをする場もなくなり、年長者が幼い子どもも仲間に入れて子ども社会をつくり出し、これらを通して鍛え合い、かばい合い、人間社会のルールを身に付けていったことも少なくなった、と指摘しました。（「発信型の新しい問題解決学習」波巖、1999年、明治図書）

また、宮台真司さんは、1950年代の子供たちが遊ぶ東京のある町の風景が2000年になると誰も遊んでいないものに変化したことを取り上げています。以前は地域の人々の顔が見えており、この人々を「みんな」と捉えることができたが、今はこの「みんな」が誰を指すのかがイメージしにくくなり、かつてあった「合意」と「熱心な関わり」が難しくなった、と宮台さんは指摘しています。（「14歳からの社会学ーこれからの社会を生きる君にー」（宮台真司、2013年、筑摩書房）

地域はこの後どのようなようになっていくのでしょうか。

「共通感覚」を大切にする意味

1か月ほど前、私は知人の声掛けにより、建築界のノーベル賞とも称される「プリツカー賞」を受賞された建築家・山本理顕さ

んのお話を聞く機会を得ました。私にはとても難しいお話でしたが、いくつかは心に残りました。その一つが「共通感覚」です。これは、地域の内側にいる人々の感覚であり、一人の感覚ではない、ということです。例えば、「美しさ」にも「みんなにとっての美しさがあること」です。これを得るためには、かつて路地や広場にあった遊びをはじめとする関わりやそこにあった共通体験が不可欠となります。これは、宮台さんの表現では「熱心な関わり」になりましょう。そして、このことがやがて地域における活動をする際の人々の判断力にもつながっていく、ともおっしゃっていました。宮台さんの言葉をお借りすれば、「合意」に向かっていく、ということになりましょうか。

改めて「地域の学校」を目指して

何度かお伝えした、昨年度の6年生が行った「諏訪小の人 顔見知り計画」では、「地域の方々と仲良くしたい」ことを目指しました。多くの方々に御参加いただきました。「楽しい」「触れ合ってよかった」という感覚を共に感じられたことから、「熱心な関わり」の大切さが改めて評価できます。このような活動を通して「顔見知り」となり、人々の築いたよさを味わいながら「共通感覚」を一人一人が身に付け、いずれよりよい地域社会の形成し、皆で合意形成を図れる資質能力を育てる本校の役割の一つと考えていますがいかがでしょうか。

幸い、諏訪には公園をはじめとするすてきな環境があり、そこには忘れ去られたと指摘された子供たちの遊びも見られ、さらには地域の方々が本校の活動にお力添えをくださっています。改めて「地域の学校」を目指したいと今考えています。

「入学式」

4月7日に、45名の1年生が諏訪小学校に入学しました。少し緊張しながらも嬉しそうに入学式に参加する姿を微笑ましく思いました。式の後には2年生が、歌と鍵盤ハーモニカの演奏を披露してくれました。食い入るように見る1年生のまなざしに、小学校生活への期待を感じました。諏訪小学校のお兄さん、お姉さんたちに見守られながら、小学校生活を元気にスタートしています。

1年担任

「特別支援教室つばさの学習」

特別支援教室は在籍学級の学習や生活において、特に支援を必要とするお子さんと週に1～2時間、3階の図書室隣にある「つばさ教室」で、個別または小集団（3～6名程度）指導を行っています。可能な限り在籍級で有意義な時間を過ごせるように、一人一人に合わせた目標を立てて、ルールのある遊びや話し合い活動を通して、自立学習と呼ばれる学習を行っています。気になることやご相談があれば、資料をお渡しいたしますので担任の先生を通してご相談ください。

特別支援教室主任

「避難訓練」

災害等の非常時に備えて地震発生時の避難訓練と引き渡し訓練を行いました。教室では机の下にもぐり、揺れが収まるのを待って校庭に避難しました。保護者の方の御協力のおかげでスムーズに引渡しを行えました。ありがとうございました。

今後警報等の発令がないことを願いますが、外出時に地震が起きたときに有効な連絡手段や待ち合わせの方法について、御家庭で話し合ってください。

生活指導部 避難訓練担当

